

青少年・治安対策本部 平成29年度に取り組む自律改革

No	取組事項	青少年・治安対策本部の取組(予定)内容	現状(取組状況)・課題	今後の方向性	取組状況 (平成29年4月1日時点)
1	自律改革の実施体制の整備	○自由闊達な議論を通じた、進取の気風に富みチャレンジ精神あふれる職場風土の構築 ○本部PT、各課PT、多職種PTの三層の実施体制の構築	○平成29年度自律改革の取組について、テーマ等を設定	○多職種PTについて、メンバーを再編し、自律改革に関する議論を実施 ○本部PT、各課PT、多職種PTによって本部自律改革を継続的に推進	実施中
2	各種イベントを通じた都民ニーズの把握	当本部で実施する都民参加型イベント等においてアンケートを実施する際に、当本部の施策について広く意見を求める質問等を盛り込み、結果を本部内で共有	○本部内若手職員等の意見等を踏まえて、本部イベント共通のアンケート項目を作成 ○実施したアンケートを集計し、本部掲示板で情報共有 ○アンケートの実施を通じて、多くの都民意見を収集するとともに、参加者に当該イベント以外の事業もPR	今後も継続して実施	実施中
3	事業の壁を超えた広報展開	各事業の広報用印刷物等を他事業のイベントで活用するなど、事業をまたいだ広報啓発を実施	○イベントにおいて、ターゲットが重複している他事業の広報印刷物等の掲示や配布を実施 ○一つのイベントにおいて複数の事業PRができ、広報効果が向上	今後も継続して実施	実施中
4	シンポジウム等の開催概要の情報発信	特にニーズが高いと思われる内容について、概要を作成の上、HPに掲載	○速記委託契約や著作権上問題のないシンポジウム等の概要について、本部HPに掲載して幅広く広報	今後も継続して実施	実施中
5	都民への情報発信の強化	都民参加型のイベント等の実施予定をHPで一覧化	○一覧性のあるイベントカレンダーを作成し、本部HPにバナーを掲載 ○各事業イベント等の情報を横断的に確認することが可能になり、HPの利便性が向上	今後も継続して実施	実施中
6	都民や区市町村等への防犯情報提供の強化	防犯ボランティア応援サイト「大東京防犯ネットワーク」の利用拡大を目指した事業展開を実施	○平成28年度に防犯アイデアソン(ワークショップ)の開催や記者等への説明等を実施し、オープンデータをはじめとしたサイト活用を集中的にPR ○区市町村や教育現場では、独自に住民や教員へサイト説明を行うなど、都以外によるPRにも発展 ○平成28年10月のリニューアル後、月間アクセス数は、飛躍的に向上	今後も防犯団体等を対象としたポータルサイト活用講習会の開催などを行い、サイト活用を促進	実施中
7	安全・安心まちづくり協議会の内容の充実	テーマを設定した講演やグループワークの実施	本協議会においては、各構成団体からの情報提供が中心であったが、協議会をより有意義なものとするため、実践的で闊達な意見交換が必要	本年6月の開催に向け、講演テーマや講師の選定等、関係者と調整	今後実施

青少年・治安対策本部 平成29年度に取り組む自律改革

No	取組事項	青少年・治安対策本部の取組(予定)内容	現状(取組状況)・課題	今後の方向性	取組状況 (平成29年4月1日時点)
8	Twitterの改善	各事業課からつぶやき内容の募集を行うことで、多様な視点で発信内容を検討し、Twitterを発信	○平成28年度自律改革の取組により、各事業担当から日々のツイート内容を募集して発信する方法へ変更 ○事業担当から施策のポイントを分かりやすく発信するなど、ツイート内容が多様化	○今後も本部広報担当と各課事業担当で問題意識を共有しながら、より適切なタイミングと多様な内容でツイートできる体制を継続 ○併せてTwitterの更なる活用を検討	実施中
9	速記委託契約の集約化	効率的な業務執行の観点から、各事業の速記委託を集約し一括契約	平成28年度末に各事業課の平成29年度の速記委託予定の契約を集約し、一括契約実施	引き続き、平成30年度分についても、各事業課の速記委託を集約予定	実施中
10	子供の安全確保に向けた対策の推進 (親子で地域の安全点検)	未就学児と保護者を対象とした安全教育施策を複数の区市でモデル実施	小学校入学直後から子供の行動範囲は拡大し、危険に遭遇する可能性が高まるため、未就学児に対する安全教育が重要	○講師の選定や区市との調整 ○3区市と連携して、モデル事業実施予定	今後実施
11	青少年の性被害防止対策 (青少年の性被害防止に係る広報啓発)	青少年の性被害について、青少年を対象にリーフレット配布や講演会等による普及啓発を実施	○近年、スマートフォンやSNS等の普及により、保護者や周囲の大人の目が届かないところでの青少年の性被害等(青少年が自らの裸の写真を撮影・送信させられてしまう「自撮り被害」やJKビジネスに関連する性被害)の増加・深刻化 ○そのため、保護者や周囲の大人だけでなく、青少年自身に対する啓発の強化が必要	○年5回のグループワーク形式の講座を実施予定 ○都内全高校生を対象とした性被害防止啓発リーフレットの配布を実施予定 ○性被害防止に係る啓発イベントを実施予定	今後実施
12	身近な犯罪の防止対策 (特殊詐欺被害根絶のための広報啓発)	地域における特殊詐欺根絶機運を醸成するため、区市町村と連携してイベントやキャンペーンを実施	○イベントを通じて、区市町村への特殊詐欺被害未然防止に係る情報提供や取組支援を行うなど、区市町村との連携を強化 ○連携してイベントを行ったことで、区市町村側に実施ノウハウ等が蓄積され、地域の自主的な広報啓発活動に進展 ○特に特殊詐欺被害の大きい地域だけでなく、広く区市町村と連携してイベントを実施し、機運醸成の輪を拡大	今後も継続して実施	実施中

青少年・治安対策本部 平成29年度に取り組む自律改革

No	取組事項	青少年・治安対策本部の取組(予定)内容	現状(取組状況)・課題	今後の方向性	取組状況 (平成29年4月1日時点)
13	補助金の支出状況等の公開	補助金の支出状況(事業名、根拠規程、決算額、支出先ほか)を本部HPで公開	都政の見える化を推進する観点から、各種補助金の支出状況について情報公開することが必要	過去2か年度(H27年度、28年度)の補助金の支出状況をとりまとめ、本部HP情報公開ポータルに公表	今後実施
14	効率的な会議運営及びペーパーレス化の推進	TAIMS端末等を活用したペーパーレス会議を推進	現在、本部内の各種会議は参加者に紙資料を配布して実施しているが、所要部数の資料の準備(印刷・コピー等)の負担が大きい	○会議の規模や態様に応じ、適したものから着手 ○実施にあたっては、本部内の共通認識のもと、一定のルールづくりを行い、適切に運用 ○併せて、会議室等におけるLAN環境等の整備を検討	今後実施
15	都庁「KA・E・RUタグ運動」の推進	「KA・E・RUタグ」を作成し、各職員の退庁時間を机上等に明示	仕事の組み立てや段取りを職員一人一人が意識し、組織全体の更なる業務の効率化に波及させていくためには、タグを活用し、職員自身及び周囲が理解を共有することが重要である	本部のオリジナルの「KA・E・RUタグ」を作成し、全職員へ配布、推進予定	今後実施
16	会議時間の短縮	スタンディングミーティングの実践や打合せコーナー等へのタイマー設置による、会議時間短縮の取組	効率的な業務運営を行っていく上で、日頃の業務打ち合わせ時間を短縮させメリハリをつける仕組みと動機づけが重要	○当面の間、既存の書庫・収納庫の上部空間等を積極的に活用し、スタンディングミーティングを実施。状況を見ながらレイアウト変更等も検討 ○タイマーは各打合せコーナーに設置し、運用状況を見ながら適宜増設を検討	今後実施
17	身近な媒体を活用した関係機関向け本部事業のPR	庁内各局や区市町村向けの交換便の余白を活用し、本部事業等を掲載	身近な媒体を活用しながら本部の取組を庁内や関係機関に広く知ってもらうことが重要	ニーズを踏まえながら、掲載する事項について検討し、実施	今後実施
18	本部HPの発信力の向上	本部HPの発信力向上のための改善・工夫の実施	本部事業や施策の認知度向上等の観点から、HPによる都民目線での情報発信の更なる強化が必要	現在のHPの掲載状況等を精査し、本部内若手職員等の意見も踏まえながら、可能なものは早期に着手	今後実施